

【1】

1. P の native C コンパイラ

- (1) まず, Core-i5 上で動作し C プログラムを P の機械語に翻訳するクロスコンパイラを開発する. (あるいは, gcc を P にリターゲティングする)
- (2) 次に, できたコンパイラを自分自身でコンパイルすると, P の native コンパイラができる.

2. P の Java 処理系

- (1) P 上で動作する JVM バイトコードのインタプリタを開発する.
- (2) Core-i5 でコンパイルして得られる JVM バイトコードは, (1) のインタプリタで実行できる.
- (3) コンパイラも自分自身をコンパイルして JVM バイトコードに変換すれば, (1) のインタプリタで実行できる.



Nagisa ISHIURA